個別施設計画

施設ごとの方針及びマネジメント期等一覧

（１）行政系施設

・旧印南町役場
・稲原防災センター
・切目川防災センター
・印南避難センター
・印南町役場

◆個別施設計画

（１）施設概要

施設名称	旧印南町役場	所属課	総務課
大分類	行政系施設	中分類	庁舎等
所在地	印南町大字印南2252-1	総延床面積（㎡）	2,467.51
設置目的・役割	町役場庁舎を設置するため。		
根拠条例等	―		

（２）施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積（㎡）	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費（千円）	建築後60年後 建て替え費（千円）
役場庁舎	1,494.45	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1964/11/1	373,613	597,780
北別館（旧教育庁舎）	241.58	鉄骨造	1995/3/31	60,395	96,632
西別館・車庫棟	399.44	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1998/3/16	99,860	159,776

（３）施設老朽化判定（主な建物のみ表示）

現地（目視）調査による建物老朽化判定					
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
D	C	C	C	C	37

（４）実施計画

	実施年度	主な工事事業	工事事業費（千円）	
施設に係る主な工事事業（予定含む）	平成24年度	ブロワー修繕	257	
	平成25年度	エアコン修繕	255	
	平成26年度	雨漏り修繕	131	
	平成28年度	屋上雨漏り修繕	108	
管理上の課題	平成29年度に新庁舎に移転して以降修繕等を行っておらず、経年劣化により建物の破損等がみられるため、今後の維持管理について検討する必要がある。			
今後のあり方	本施設は、除却解体を検討する建物（役場庁舎、西別館・車庫棟、増築棟等）及び利活用を検討する建物（北別館等）があり、除却解体については、老朽化が著しく、施設付近に外壁の落下や屋根材の飛散等により、危害を及ぼす恐れがあるため、早急に対応します。同時に、利活用についても、建物に不具合が発生する前に、早急に対応します。			
方針	5	施設の除却・解体等の検討を行う。	マネジメント期	3

（５）施設を構成する主な建物または劣化箇所

役場庁舎		屋根・屋上 （役場庁舎）	
北別館（旧教育庁舎）		西別館・車庫棟	

◆個別施設計画

（１）施設概要

施設名称	稲原防災センター	所属課	総務課
大分類	行政系施設	中分類	その他行政系施設
所在地	印南町大字印南原4850	総延床面積（㎡）	441.62
設置目的・役割	防災意識の高揚及び防災技術の向上等地域防災の確立を図る。		
根拠条例等	印南町防災センター設置及び管理に関する条例		

（２）施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積（㎡）	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費（千円）	建築後60年後 建て替え費（千円）
防災センター	441.62	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1992/4/1	110,405	176,648

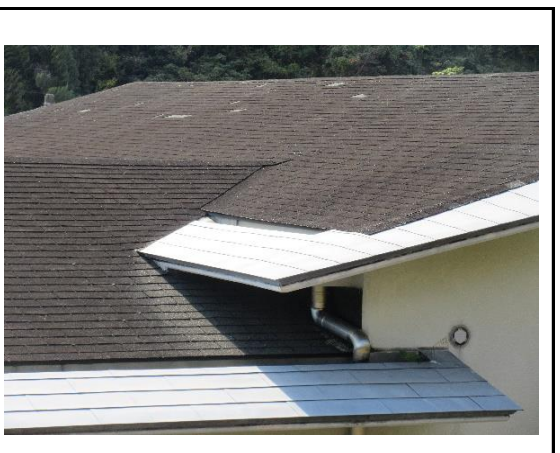
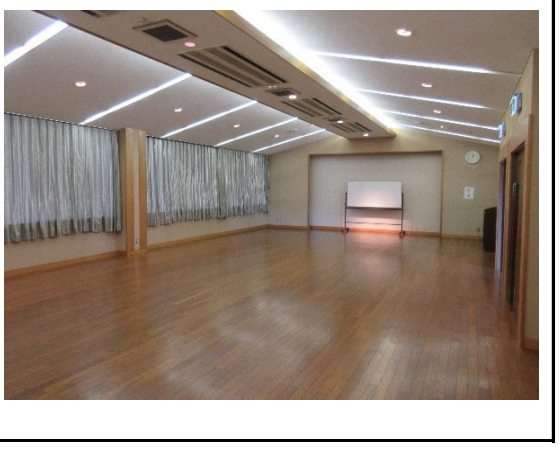
（３）施設老朽化判定（主な建物のみ表示）

現地（目視）調査による建物老朽化判定					
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
B	B	B	B	B	75

（４）実施計画

施設に係る主な工事事業（予定含む）	実施年度	主な工事事業	工事事業費（千円）	
	平成26年度	エアコン修繕	653	
	平成29年度	エアコン修繕	950	
	令和元年度	ブロワー修繕	288	
管理上の課題	現状、施設について大きな支障はないが、今後、適切な施設マネジメントのもと、継続的に維持管理を行う必要がある。利用状況については、各種講座や防災訓練等に使用しているが、年間使用数は少ない状況である。しかし、災害時の使用が予測されるため、継続的に維持管理を行う必要がある。			
今後のあり方	現状、施設について大きな支障はないが、今後、適切な施設マネジメントのもと、継続的に維持管理を行う。			
方針	1	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。	マネジメント期	—

（５）施設を構成する主な建物または劣化箇所

防災センター		屋根・屋上	
1階研修室		2階研修室	

◆個別施設計画

（１）施設概要

施設名称	切目川防災センター	所属課	総務課
大分類	行政系施設	中分類	その他行政系施設
所在地	印南町大字古井623	総延床面積（㎡）	458.17
設置目的・役割	防災意識の高揚及び防災技術の向上等地域防災の確立を図る。		
根拠条例等	印南町防災センター設置及び管理に関する条例		

（２）施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積（㎡）	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費（千円）	建築後60年後 建て替え費（千円）
防災センター	458.17	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1993/4/1	114,543	183,268

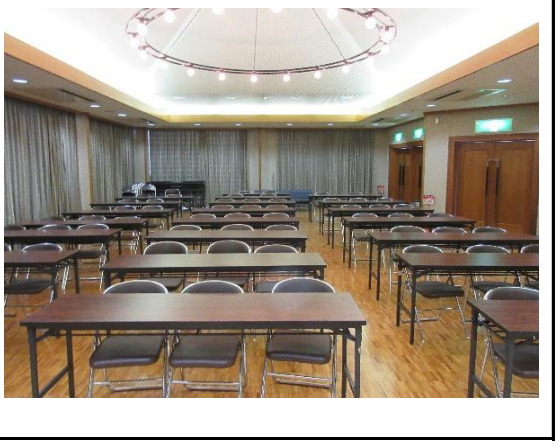
（３）施設老朽化判定（主な建物のみ表示）

現地（目視）調査による建物老朽化判定					
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
B	B	A	B	B	84

（４）実施計画

	実施年度	主な工事事業	工事事業費（千円）		
施設に係る 主な工事事業 （予定含む）	令和元年度	外壁塗り替え工事	2,136		
	令和元年度	雨漏り等修繕工事	353		
	令和2年度	かまどベンチ設置工事	1,259		
	令和2年度	トイレ改修工事	7,088		
管理上の課題	現状、施設について大きな支障はないが、今後、適切な施設マネジメントのもと、継続的に維持管理を行う必要がある。利用状況については、各種講座や防災訓練等に使用しているが、年間使用数は少ない状況である。しかし、災害時の使用が予測されるため、継続的に維持管理を行う必要がある。				
今後のあり方	現状、施設について大きな支障はないが、今後、適切な施設マネジメントのもと、継続的に維持管理を行う。				
方針	1	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。	マネジメント期	—	

（５）施設を構成する主な建物または劣化箇所

防災センター		1階研修室	
1階厨房		2階研修室	

◆個別施設計画

（１）施設概要

施設名称	印南避難センター	所属課	総務課
大分類	行政系施設	中分類	その他行政系施設
所在地	印南町大字印南1307	総延床面積（㎡）	288.41
設置目的・役割	防災意識の高揚及び防災技術の向上等地域防災の確立を図る。		
根拠条例等	印南町避難センター設置及び管理に関する条例		

（２）施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積（㎡）	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費（千円）	建築後60年後 建て替え費（千円）
避難施設	288.41	鉄骨造	2016/1/31	72,103	115,364

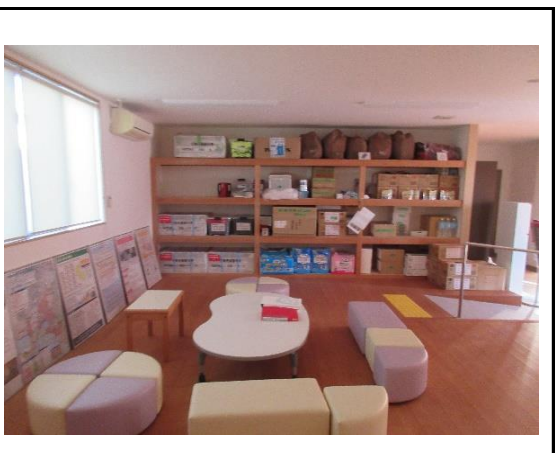
（３）施設老朽化判定（主な建物のみ表示）

現地（目視）調査による建物老朽化判定					
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
A	A	A	A	A	100

（４）実施計画

	実施年度	主な工事事業	工事事業費（千円）	
施設に係る 主な工事事業 （予定含む）	平成30年度	屋根瓦修繕工事	554	
管理上の課題	現状、施設について大きな支障はないが、今後、適切な施設マネジメントのもと、継続的に維持管理を行う必要がある。利用状況については、防災訓練等に使用しているが、年間使用数は少ない状況である。しかし、災害時の使用が予測されるため、継続的に維持管理を行う必要がある。			
今後のあり方	現状、施設について大きな支障はないが、今後、適切な施設マネジメントのもと、継続的に維持管理を行う。			
方針	1	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。	マネジメント期	—

（５）施設を構成する主な建物または劣化箇所

避難施設		1階フロア	
2階和室		トイレ	

◆個別施設計画

（１）施設概要

施設名称	印南町役場	所属課	総務課
大分類	行政系施設	中分類	庁舎等
所在地	印南町大字印南2570	総延床面積（㎡）	2,595.09
設置目的・役割	町役場庁舎を設置するため。		
根拠条例等	印南町役場の位置に関する条例		

（２）施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積（㎡）	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費（千円）	建築後60年後 建て替え費（千円）
役場新庁舎	2,595.09	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	2017/2/1	648,773	1,038,036

（３）施設老朽化判定（主な建物のみ表示）

現地（目視）調査による建物老朽化判定					
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
A	A	A	A	A	100

（４）実施計画

施設に係る主な工事事業（予定含む）	実施年度	主な工事事業	工事事業費（千円）	
	平成29年度	庁舎フェンス設置工事	2,462	
	令和元年度	庁舎屋上笠木等修繕	407	
管理上の課題	現状、施設について大きな支障はないが、今後、適切な施設マネジメントのもと、継続的に維持管理を行う必要がある。			
今後のあり方	現状、施設について大きな支障はないが、今後、適切な施設マネジメントのもと、継続的に維持管理を行う。			
方針	1	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。	マネジメント期	—

（５）施設を構成する主な建物または劣化箇所

役場新庁舎		屋根・屋上	
内部		議場	